

令和6年度「ふくしま6次化人材育成事業」公募型プロポーザルに関する質問書への回答

No.	質問項目	質問内容	回答
1	「委託仕様書」3 業務の内容	昨年度は11月からの開塾を予定していたが、今年度は10月からの開塾を予定されている理由を教えてください。	昨年度は、県が実施する別事業の受講生に対して6次化創業塾への参加を促すため、11月からの開塾に設定した経緯がありました。今年度は10月から開講の予定です。
2	「委託仕様書」3 業務の内容 (3)ア	「塾の募集チラシ等の作成、郵送等による関係機関への募集の広報」とあるが、今年度は何部作成する想定をされているか。また印刷の仕様が決まっていれば教えて欲しい。	令和5年度は12,000枚程度印刷・配布したことから、今年度も同程度の印刷・配布は必要であると考えています。 印刷の仕様は特に定めておりません。
3	その他	これまでにふくしま6次化人材育成事業を行っていると思うが、事業の中で貴県が一番課題に感じていることがあれば教えて欲しい。	6次化に取り組む方は増えているが、販路の確保・拡大を見いだせない実践者もおり、商品開発と合わせて販路に関する講義が必要と考えております。
4	その他	これまでのふくしま6次化人材育成事業を通し、特に受講生の参加が少なかった地域や貴県としてもっと参加して欲しい地域などあれば教えて欲しい。	県としては意欲のある方、さらなる6次化の発展に取り組みたい方の参加を望んでおり、地域的な希望はありません。
5	その他	これまでのふくしま6次化人材育成事業も含めて貴県が卒業生に望んでいること、課題に感じていることがあれば教えて欲しい。	本県農林水産業の振興と発展のため、6次化商品開発と併せて販路の確保・拡大に持続的な挑戦をされることを期待しております。
6	「委託仕様書」3 業務の内容 (1)コース設定	・昨年度の各コースの受講者に関する属性、年代についてお教え下さい。 ・6次化創業支援スタッフコースについて、育成すべき地域コーディネーターの人材像について、具体的なものをお教えください。	各コースともに年代は幅広く、創業コースは農業や加工業、飲食業など幅広い業種で参加されております。創業支援スタッフコースは自治体やJA職員、コンサルティングを生業にされる方となります。 プロダクトのプロデュースのみならず、出口戦略としてのセールスアドバイスまで支援・指導いただける人材の育成を期待します。
7	「委託仕様書」3 業務の内容 (2)カリキュラムの設計	・カリキュラムの要件（時間数、実施回数、実施日数等）がありますでしょうか。 ・カリキュラムの中に必須な要素等があれば教えてください（デジタルなど） ・カリキュラム作成において、食の6次産業化プロデューサーの認定要件は必須となりますでしょうか。	カリキュラムの要件及び必須の要素については、事業の目的・内容を実現する最適な時間や回数、内容をご提案してください。 食の6次産業化プロデューサーの認定要件は必須ではありません。
8	「委託仕様書」3 業務の内容 (4)塾の運営管理	講義は福島農業総合センターを利用いたしますが、会場費については本事業予算にて負担すべきでしょうか。	農業総合センターを使用する場合は会場費の負担は必要ありませんが、スケジュールによっては農業総合センターを使用できず、講義の会場費等の費用が発生する場合があります。
9	「募集要領」5 プロポーザルに関する提出書類 (3)企画の提案	提出書類について、②県から受託した委託事業実績一覧（令和3年度～令和5年度）は福島県からの受託事業か、他県のものでもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりですが、他県から受託した委託事業実績の提出を妨げるものではありません。